

一般質問通告書(平成 25 年 9 月定例会)

氏 名・質問事項・答弁先	質 問 要 旨
<p>1 3 番 村上 和子 1 福祉灯油事業に代わる高齢者・障がい者・ひとり親世帯などの恒久的な生活支援策について (町 長)</p>	<p>アベノミクスによるデフレ脱却のため金融緩和政策などがなされているが、地域経済の生活の実態は厳しい。今後の見通しとして9月1日から電気料金が平均7.73%引き上げられ、ガソリン価格の高騰やこれからの冬場の灯油価格も原油の調達コストが円安で上昇する気運がある。 第1回定例会での福祉灯油事業をしてはどうかという質問に対し、福祉灯油事業に代わる高齢者・障がい者・ひとり親世帯に対する恒久的な生活支援事業を秋ごろまでに考えたいということであったが、どのような施策を考えているのか伺う。</p>
<p>2 自衛隊官舎(国家公務員宿舎)使用料の値上げが適用されないような対策を (町 長)</p>	<p>国家公務員宿舎の削減計画に基づき、平成26年4月から国家公務員宿舎の使用料の引き上げが検討されており、使用料を2倍に見直す方針が明らかになっている。 自衛官には指定場所に居住する義務がある。町にあっても共存共栄、自治体との信頼関係維持が保たれており、長期不在する隊員の家族への対応及び部隊・地域の安全を保持していることなどを考えると、使用料が値上げされれば上富良野町の自衛隊官舎からの流出をさらに助長する結果となり、職務を遂行するうえで影響を及ぼしかねない。町としても値上げにならないような対策を考えては。</p>
<p>3 上富良野町のブランド力の評価をいかし、さらなる観光客の集客アップに向けた対策を (町長)</p>	<p>日経リサーチがまとめた2013年の地域ブランド力の調査によると、都道府県別で北海道は常に3位以内にあり、市町村別の市では富良野市が15位、町では上富良野町が6位、中富良野町が7位、美瑛町も7位、南富良野町は10位に入り、訪問経験者に聞いた満足度では上富良野町が町村でトップとなった。これを機に、さらなる観光客の集客アップに向けたニーズに対応すべく対策が必要ではないか。</p>
<p>4 子ども・子育て会議の設置について (町長)</p>	<p>平成25年4月に国において「子ども・子育て会議」が設置された。会議のメンバー構成は有識者・地方公共団体・事業主代表・労働者代表・子育て支援当事者などが想定され、子育て支援のニーズがしっかりと反映できるような仕組みとなっている。このような仕組みは国のみならず、地方においても極めて重要である。ニーズがより一層反映できるように我が町でも早急に設置に向けて幅広い意見を反映させてはどうか。</p>
<p>5 子ども達の安全確保のために、通学経路の総点検と子ども110番の啓もうを (町長)</p>	<p>先日、町内でも不審者情報が相次いで2件報告された。今一度、学校や生徒、PTAが一体となり通学路などの再点検が必要ではないか。また、子ども達が危険な目に遭遇することがないように犯罪防止に効果があり、小学校入学時に配布しているという子ども110番の商店(12店舗)・個人宅(44軒)のマップの確認、生活安全推進協議会と連携をするなど今後の対策はどのように考えるか。</p>

<p>2 4番 米沢 義英</p> <p>1 介護保険制度について (町 長)</p>	<p>国は、2015 年度から介護保険制度を改正しようとしている。利用者負担の見直し、要支援の給付を保険給付から市町村の事業とし、さらに、特別養護老人ホームの入所基準を要介護3以上に限定しようとしているが、次の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、要支援1・2の給付内容と利用実績と町の負担分について。 2、保険給付の内容は自治体の裁量となり運営基準がなくなり、ボランティア、NPOなどを活用するとしているが、一律のサービスができなくなるのでは。 3、低所得者が特別養護老人ホームなどの施設に入所した場合は軽減制度があるが、軽減の割合が引き下げられれば退所に繋がるのでは。 4、要介護1・2の高齢者が特養を利用する理由として、介護者の不在、介護困難、住居問題が大きいといわれているが、入所基準を制限することは高齢化の進むなかではなじまないのでは。 5、介護保険制度が見直された場合、行政や利用者にとって何が問題となると考えるか。
<p>2 除雪サービスについて (町 長)</p>	<p>現在、除雪サービスは所得制限を設定しているが、高齢化がさらに進む中で除雪の要望も高まるものと考えているが、所得制限の撤廃をしては。</p>
<p>3 障がい者施設の仕事の確保について (町 長)</p>	<p>障がい者施設のなないろニカラでは、就労支援事業をはじめとする生活支援事業を行っている。事業所自らも就労者の仕事確保のために、レストランの運営やパンづくりも行っている。また、農家などとの協力により豆よりなど他の仕事の依頼も増えてはきているようだが、季節的な仕事が多く恒常的な仕事の確保が大変だと聞いている。行政としても障がい者施設に依頼できる仕事があれば確保し、支援策も検討すべきと考えるが、見解を伺う。</p>
<p>4 体罰について (教育長)</p>	<p>7月に上富良野小学校の児童に対して、教諭が平手で左頭部横を叩くという、あってはならない体罰が発生した。その後の対処として、教諭との面談や保護者宅への訪問と謝罪も終わったと聞いているが、次の点について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、児童及び保護者に対する対応は。 2、過去にも体罰があったのか。 3、教諭に対する対応は。 4、学校及び教育委員会としての今後の対応は。

<p>3 9番 岩崎 治男 1 上富良野物産館（物産店）の設置について (町長)</p>	<p>近年、国内はもとより海外からの観光客や農業研修生の入込みが増加している。上富良野産の特産品などをどこに行けば買えるのか尋ねられることがある。町特有のお土産品などを展示販売する上富良野物産館を早急に作るべきと考えるが、町長の考えを伺う。</p>
<p>2 上富良野小学校建設について (町長)</p>	<p>上富良野小学校の改築工事が着工され、待望であった改築がかなうこととなった。旧校舎解体、新校舎建設の進捗状況は。 平成26年7月に完成する予定ということであるが、計画通りの作業手順で進んでいるのか伺う。</p>
<p>3 工事現場での騒音・消音対策は (町長)</p>	<p>上富良野小学校建設には地区住民はもろ手を挙げて賛同し、理解を示している。 しかし、地元住民に工事説明がなかったわけではないが、予想以上の工事音が外部・近隣の住宅まで聞こえており、騒音・消音対策をどのように考え、工事を進めているのか町長の考えを伺う。</p>
<p>4 10番 中澤 良隆 1 介護保険制度改正の取り組みについて (町長)</p>	<p>国では、社会保障改革の「プログラム法案」いわゆる医療、介護、年金制度の見直しが閣議決定された。これらの制度見直しの中で、介護保険制度の改正について町の取り組み姿勢並びに対応策について伺う。</p> <p>(1) 三点の改正点が示されているが、それぞれの現状と対応策などについて伺う。</p> <p>① 要支援1・2を市町村事業に移行し、NPOやボランティアを活用した中で介護予防サービスを行うことになると思うが、本町のNPO、ボランティアは十分な状況にあるのか。 また、今後の取り組み方策について伺う。</p> <p>② 特別養護老人ホームの入所条件が要介護度3以上の案となっているが、ラベンダーハイツ入所者の要介護度別の人数は。 また、特養入所待機者数とその介護度別人数は。要介護度が3以上になることによりラベンダーハイツの運営上にどのような影響があるのか伺う。</p> <p>③ 自己負担がある程度の所得以上の者は1割負担から2割負担になるが、今、介護保険サービスを受けている方々の所得階層の現状は。</p> <p>(2) これらの改正案は、施設福祉から在宅福祉重視へさらに移行することになると思うが、住んでいて良かったと実感できる福祉の充実した上富良野町にするため在宅福祉サービスのメニューや供給体制は十分か伺う。</p>

<p>2 健康の町宣言について (町 長)</p>	<p>町では健康の町を宣言するよう準備が進められていると承知しているが、宣言を行おうとするに至った次の項目について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 健康の町宣言をしようとするに至った経緯と、いつ、どこでどんな方法で宣言をしようとしているのか。(2) 「健康」の捉え方にはいろいろあると思うが 健康の町宣言の「健康」の定義について伺う。(3) 宣言することによりどのような効果を期待しているか。(4) 自らの健康は、自らが健康を確保することが基本だと考えるが、住民と行政の役割分担をどのように考えているのか。(5) 宣言を行ううえで、行政の横の連携が重要だと考えるが、保健、福祉、医療、教育を担当する部署との連携策をどのように進めているのか伺う。(6) 今まで町では様々な宣言などを行ってきたが、この機会に宣言当初の初心に戻り現状に即した見直しを行い、さらに進展させていく考えはないのか。
-------------------------------	---